



平兼盛(40番)『拾遺集』
しのぶれど色に出でにけりわが恋(こひ)は
ものや思ふと人の問ふまで
平兼盛(40番)『拾遺集』恋一・622

かく 隠された排卵、発情

;concealed ovulation;the mating season

名誉院長 西 田 敬

押し寄せ、^{ひし}轟めく世間の^{さじ}些事に息詰ま
りを覚えたとき、空と昔に^{むかし}想いを馳せよ。
^{こうだいむげん} 広大無限なる宇宙の^{いちぐう}一隅に地球が出現し
て、はや46億年。而も、此の^{しか}裡、^{うち}人類の
^{ぼうがせいぜい} 萌芽は精々、一億年にも満たない。茲に
来て、人類は己の種を^{おのれ}保存する術を見つ
けたようだ。それは、何かと^{すき}隙が生じ易
い、^{はつじょうき}発情期(繁殖期)を他の^{はんしよくき}天敵共に^{てんできども}悟
^つらせぬ事に^き尽きる。

^{ひひ}狒狒やvonovo chimpanzeeの場合、^{はつ}発
^{じょうきめす}情期の雌では外陰、臀部の発赤、腫脹や、
^{あたかま}辺り構わず、^{かも}濃密に醸し出すpheromone
^{ほうしゆつ}放出も顕著となる。二足直立歩行(^{にそくちよくりつ}bipedal
style)を^{もつぱ}専らとする、ヒトの女性では^{とうがい}当該
部は股間に^{ひとく}秘匿され、^{ひとく}排卵徴候は外見上、
不明の^ま儘で、主として内性器の機能変化
として現れる。苟も、^{いやく}霊長類:primateの
^{めいしゆ}盟主。他の^{さる}猿の類とは^{たくい}一線を^{かく}画す。発情
の^{ちようこう}徴候は体内に^{すなわ}封じ込める。即ち、子宮
^{けいかん}頸管粘液の変化。増量は勿論、^{ねんちようせい}粘稠性、
^{ひけんしせい}納豆の如く糸を^{しだじょう}牽く^{ひけんしせい}牽糸性、^{しだじょう}羊齒状の結
^{おろ}晶形成は愚か、^{あこぎ}阿漕の果には、^{あだ}婀娜っぼ
^{しな}い科をつくり、^{みずか}自ら^{えんしゆつ}発情まで^{えんしゆつ}演出するに
至る。世俗に男子7人の^{てき}敵あり。
Bioenergy(生体エネルギー)は、^{じゆつこう}熟考
の末に、^{かんじんかなめ}肝心要の折にこそ、^{てきざいてきしよ}適材適所で
^{つか}遣う可し。呉^べ呉^{くれぐれ}も油断は^{まさ}禁物。将に、^{こう}好
^{かん}漢、^{じちよう}自重せよ!

